

令和7年度 第1回 碧南市地域自立支援協議会 会議録

1 日時

令和7年6月20日（金）午前10時00分から午前11時30分まで

2 場所

へきなん福祉センターあいくる デイルーム

3 出席者

(1) 委員 19名

碧南市社会福祉協議会 中川 英治（委員長）

碧南市手をつなぐ育成会 三浦 志朗（職務代理）

日本福祉大学教授 青木 聖久

碧南市民生委員児童委員協議会 榊原 和弘

NPO法人ハートフルあおみ（あおみJセンター所長）水野 啓章

刈谷公共職業安定所碧南出張所 辻 辰憲

愛知県衣浦東部保健所 新美 萌子

碧南市小中学校校長会 溝口 雅喜

親子の会「カラフル」 鈴木 由記

身体に障害のある子の親子の会「すまいる」 永井 美幸

ほっとまんまピアサポーター 杉浦 有美

碧南市商工会議所 山本 直仁

スギ製菓株式会社 永坂 峰広

西三河南部西障害者就業・生活支援センターくるくる 川村 顕治

刈谷病院 水野 美香

サンフレア 高松 有美

就労センターオアシス碧南 中根 祐子

WHJ相談支援センターメビア 浅野 将克

ARTIST JAPAN 森脇 友理

(2) 事務局

福祉部長 伊藤 正博

福祉課長 磯貝 浩

福祉課社会福祉係長 山本 昌弘

福祉課社会福祉係主事 畠山 和也

福祉課社会福祉係主事 矢野 友也

(3) 基幹相談支援センター（碧南市社会福祉協議会）

地域福祉課地域福祉係長 古川 裕隆
地域福祉課地域福祉係主査 小島 誠司
地域福祉課地域福祉係主事 坪井 優佳
地域福祉課地域福祉係主事 長谷川 祥子
地域福祉課地域福祉係主事 天野 好美
地域福祉課地域福祉係主事 久村 明弘
地域福祉課地域福祉係主事 角谷 有花
地域福祉課地域福祉係主事 大野 聖士
地域福祉課地域福祉係主事 田島 十和

4 傍聴者

0人

5 議題

- (1) 障害福祉サービス等の提供実績について
- (2) 基幹相談支援センターの実績について
- (3) 碧南市地域自立支援協議会各作業部会の実績報告及び今年度の取組について

6 議事の要旨

- (1) あいさつ（中川会長）

- (2) 議題

ア 障害福祉サービス等の提供実績について

事務局が会議資料に基づき説明し、その後審議した。

<主な意見・質疑>

特に意見・質疑等なし。

イ 基幹相談支援センターの実績について

事務局が会議資料に基づき説明し、その後審議した。

<主な意見・質疑>

特に意見・質疑等なし。

ウ 作業部会の実績報告及び今年度の取組について

事務局が会議資料に基づき説明し、その後審議した。

<主な意見・質疑>

A委員：こども部会にて作成するキッズサービスガイド等の発行物について、作成時に各団体に声掛けをしていただき、内容について検討させていただきたい。

事務局：昨年度に行った意見交換を受け、関係する内容を可能な限り盛り込んだ

いと考えている。既存の内容においても、改善できる部分は改善していきたいと考えている。今年度も協力をお願いしたい。

A委員：保護者向けの児の事業所説明会を行う予定はあるか。

事務局：令和7年11月16日午前中に開催予定である。

B委員：講演会の年間計画は早めに定めることができないか。

事務局：講師との調整もあるため、1月前程度の案内となってしまう。

C委員：就労選択支援は、障害者の職業選択がより良いものとなるように本人と共同で行っていく事業である。就労選択支援事業所のみではなく、相談支援員と一緒に考えながらやっていきたい。強みや弱みを知り、仕事につなげていける事業にしたい。

オ 学識経験者（日本福祉大学 青木聖久 教授）

4点のまとめをしたい。

①知っておくことの大切さ。本日、サポートブックの話が出た、小中学生にも広く知ってほしいと考える。知ることにより、障害が特別なことではないという未来を想像することができる。

②家族を人生の主人公にした関わり。相談機関に行ったときにねぎらってもらえるとすごく救われた気になる。優しくされると身近な人にバトンを渡す。家族支援は本人支援につながる。

③違いと共通。障害種別によって違うところがある。しかし、共通もある。喜怒哀楽の感情は共通部分である。障害のあるなしに関係なく共通なことにも注目したい。

④メンタルヘルスの大切さ。メンタルの健康を含めた健康は大切である。障害年金の障害種別は19種類ある。その一つが精神障害。しかし、精神障害が受給者の6割を超えている。障害の中でも精神障害が主流になってきている。どうやったら人が清々しく暮らすことができるのか。一緒に考えていきたい。

7 その他

事務局が会議資料に基づき、次回の会議予定等を説明した。

以上